

六本木ヒルズ 森タワー（8Fオフィス階）



外観

東京都港区にある「六本木ヒルズ」の中核を担うメインタワー。2003（平成15）年4月に開館。時代の推移とともに、ビルの共用部のバリューアップの一環としてオフィストイレの改修を行うことになった。



東側女性トイレ 入口

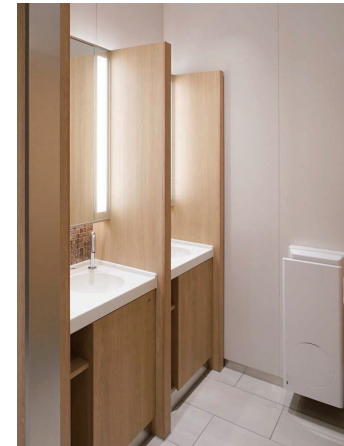


通路から内部への視線に配慮された、すっきりとしたレイアウトの入口。シンプルで洗練されたデザインのサインを採用している。



東側女性トイレ
洗面コーナー

木目調を多用した心地よい空間。意匠性のよいベッセル式洗面器を採用。衛生性に配慮して非接触で手洗いができる自動水栓とオートソープディスペンサーを設置。女性利用者の声を生かし、小物入れを新設している。



東側女性トイレ
スタイリングコーナー



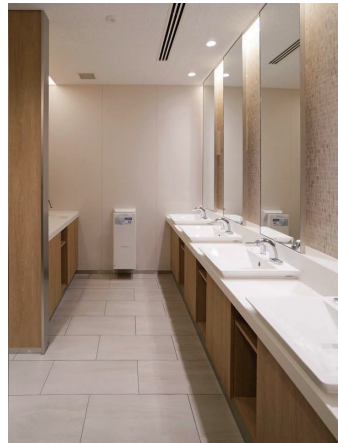
菌みがきコーナーと一体になったスタイリングコーナー。コンパクトなボウルや非接触で利用できる自動水栓、オートソープディスペンサーを採用。照明を両サイドに配置し、顔に影ができないように配慮している。



東側女性トイレ
大便器コーナー



改修前のブース扉より扉を10cm高くし個室感を高め、緊急時には管理者が外側から開けることができる仕様。大便器は、清掃性に配慮し壁掛型を採用。さらにセンサースイッチや一部のブースにはL型手すりも設置している。



東側男性トイレ
洗面コーナー



洗面コーナーには菌みがきコーナーも併設し、あわせ鏡にならないように鏡は設置していない。カウンター下の収納は、上段はパソコンや書類置き場、下段はカバン置きとして利用できるように配慮している。



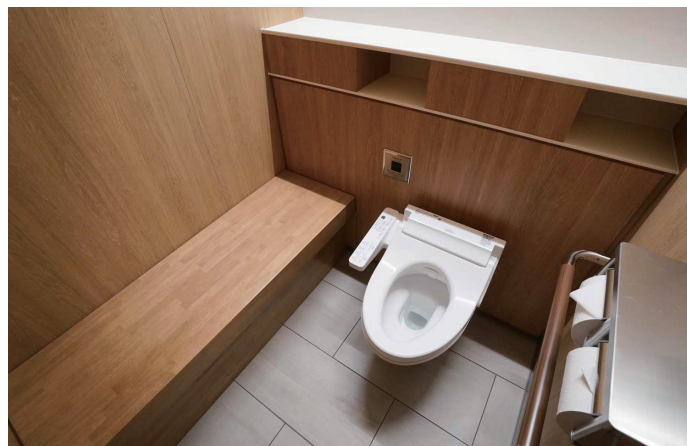
東側男性トイレ
小便器コーナー

今回の改修では小便器の間に仕切りを設置。仕切りは現場検証を重ね、隣人が気にならずにスペースを広く感じることができるよう高さや角度を工夫。また傘を掛けられるよう、ライニングの手前を立上げている。



東側男性トイレ
大便器ブース

利用者アンケートから、男性大便器ブースの混雑が判明し、小便器の数を減らして大便器数を増やしている。大便器は、床の清掃性がよく連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置している。



東側男性トイレ
ひろびろブース

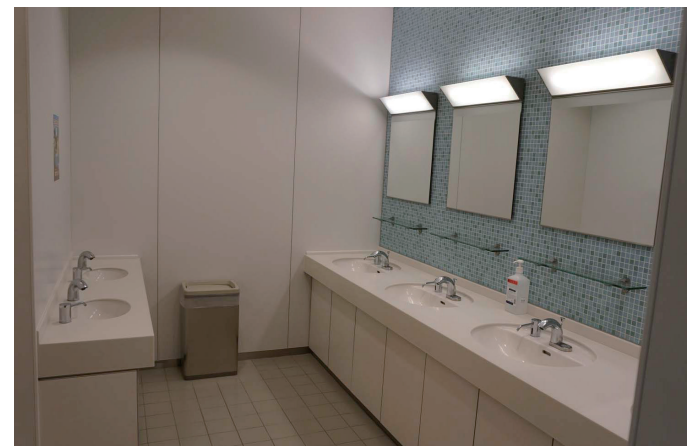
利用者アンケートから、休憩できる、着替えができる場所としてのトイレの在り方、また手荷物置き場のニーズに配慮し、ひろびろブース内にベンチを配置。男性トイレ、女性トイレともに同様の配慮を行っている。



東側パントリー

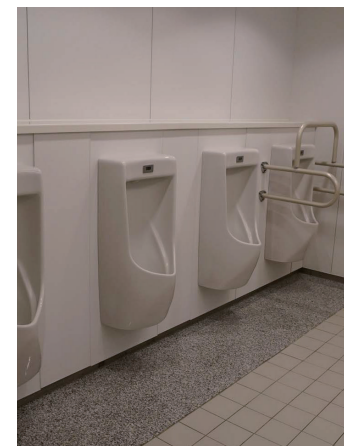


新たな取組みとして、トイレ以外でも手洗いでできる手洗いコーナーを、パントリーに設置。ボウルは、菌みがきコーナーより大きいタイプを選定し、トイレまで行かなくても手が洗えるよう配慮している。

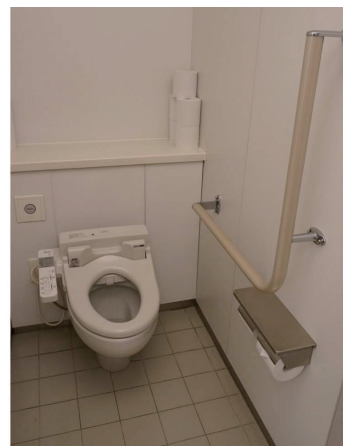


改修前 東側トイレ

改修前の女性トイレは、洗面コーナーに対面して、菌みがきコーナーを設置していた。



改修前 東側トイレ



改修前の小便器には仕切りがなかった。また大便器は床置きで、便器洗浄ボタンはタッチスイッチを使用していた。

六本木ヒルズ 森タワー（8Fオフィス階）



西側女性トイレ
洗面コーナー

東側トイレと同様の器具を採用し、リラックスできるナチュラルな木目調とブラウン系のタイルで演出された空間。洗面の下には大きな荷物が置ける配慮がなされている。



西側女性トイレ
スタイリングコーナー

仕切りを設けたパーソナル空間でお化粧直したいという利用者アンケートの要望から実現した、スタイリングコーナー。鏡にはLED照明が設置され、簡単に取外しできる仕様とし、メンテナンス性にも配慮されている。



改修前 西側トイレ

改修前の女性トイレには、スタイリングコーナーが設置されていなかったが、レイアウトを工夫して新設。女性配慮やその時々ニーズを考えながら、改修がすすめられた。



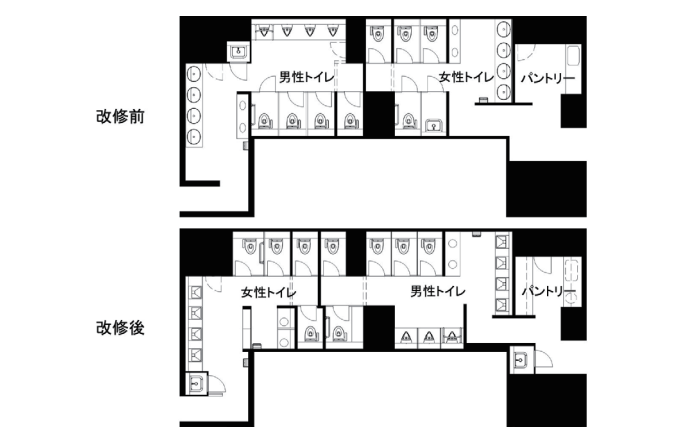
西側女性トイレ
ひろびろブース

ひろびろブースは、体調不良時の休憩や荷物置きとして利用可能なベンチを設置。空間を美しく保つためにトイレトペーパー収納を新設した。便器洗浄ボタンは衛生性に配慮しセンサースイッチを採用している。



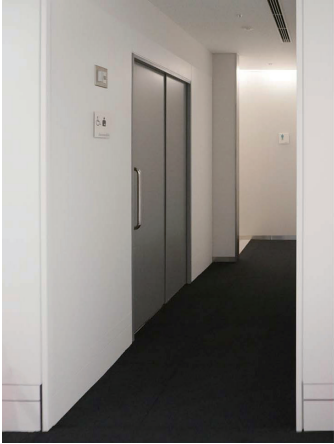
西側女性トイレ
小物入れ

多数のワーカーが利用可能な棚タイプの小物入れを設置。扉を閉めた状態でも濡れた歯ブラシやコップを乾かすことができるように上下にスリットを設け、空気が循環できるように工夫している。



東側トイレ図面

テナント様の男女比の割合に応じて、大便器ブース数を可変できるように、間仕切りを設置している。



西側トイレ
バリアフリースイッチ

改修前は設置されていなかったバリアフリースイッチを西側トイレのレイアウト変更により新設。入口は、開口部を広く確保できる2枚引戸を採用し、トイレ内の設備がひと目でわかるサインを掲示している。



西側トイレ
バリアフリースイッチ

車いす使用者だけでなく、オストメイトも利用できるコンパクトオストメイトパックを設置。さまざまな身体状況の方に必要な設備を完備している。



西側トイレ図面

西側トイレは、通路をなくしトイレスペースを広げ、バリアフリースイッチを新設。東側同様、西側もテナント様の男女比の割合に応じて可変できるように仕切りを設置している。

水まわりの特長

改修の経緯

「六本木ヒルズ 森タワー」は、東京都港区六本木にある「六本木ヒルズ」の中核を担うメインタワー。2003(平成15)年4月に開館。10周年をきっかけにビル共用部のバリューアップの一環で、オフィス棟のトイレの改修を計画。2015(平成27)年に公布された「女性活躍推進法」を背景とし、女性に配慮したトイレ空間を目指し、改修の取組みをはじめた。改修は時間をかけて順次行われており、その時々一番いい方法をタイムリーに反映させ、実施されている。現在では女性配慮に限らず、男性目線での配慮、性的マイノリティ配慮、さまざまな利用者への配慮など、時代の推移にふさわしい、必要な空間配慮を取り入れている。今回は8Fオフィスフロアの改修が行われた。

トイレの特長

8Fトイレは、ナチュラルカラーの木の色合いを生かした空間演出により、オフィスワーカーが気分を一新できるリフレッシュ空間を創出している。また、利用者アンケートを実施しながら改修内容をブラッシュアップさせ、レイアウトは東側・西側とも男女トイレの位置を入替えてレイアウトを変更。ライニング上にペーパーストック用スペースを造作した大便器ブースや、休憩や着替え荷物置きとして利用可能なベンチを設置したひろびろブースを備え、さらに女性トイレにはスタイリングコーナーも新設した。また、西側トイレにはバリアフリースイッチが整備。新しい試みとして、手洗い需要増加に伴いバントリーに手洗いコーナーを新設し、トイレまで行かなくても手が洗える配慮がなされている。

建築概要

名称	六本木ヒルズ 森タワー（8Fオフィス階）
所在地	東京都港区六本木6-10-1
施主	森ビル株式会社
設計	株式会社イリア
施工	建築 株式会社礎コラム 電気 株式会社九電工 空調 三機工業株式会社 衛生 株式会社三晃空調
竣工年月	(改修)2021年11月
敷地面積	23,000.50㎡
建築面積	16,169.15㎡
延床面積	379,408.63㎡
構造・階数	鉄骨造(柱コンクリート充填鋼管構造)、 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造(地下)・ 地下6階、地上54階、塔屋2階

おもなTOTO使用機器

大便器ユニット:UTNCBD
ウォシュレットP:TCF587Y
ウォシュレット アプリコットP (温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUP*系
棚付二連紙巻器:YH701
小便器ユニット:UTNUDN
マープライトカウンター(ボウル一体タイプ):MC45、MC50
洗面器:LS910CR
台付自動水栓:TENA47A、TLE26501J
自動水石けん供給栓:TLK07S01J
コンパクト多機能トイレパック:UADAK11R1A1ADD2W
パブリック用手すり:T114CL10R、T114C22R